

和 漢 診 療 学

教 授 寺 澤 捷 年
 助 教 授 伊 藤 隆
 講 師 嶋 田 豊
 助 手 喜 多 敏 明
 助 手 柴 原 直 利

◆ 著 書

- 1) 寺澤捷年：和漢診療学。黎昌琮訳，成都科技大学出版社，中国，1997。
- 2) 寺澤捷年：西洋醫學者の漢方診療学。曹基湖，辛吉祚共譯，集文堂，韓国，1998。
- 3) 寺澤捷年，柴原直利：漢方医学からみた創傷治療。「創傷管理と治療システム」田澤賢次編，108-115，金原出版，東京，1998。

◆ 原 著

- 1) Kogure T., Fujinaga H., Niizawa A., Shimada Y., Itoh T. and Terasawa K.: Serum DHEAS level does not correlate with disease activity in postmenopausal patients with rheumatoid arthritis. *Clin Rheumatol* 10:24 5-252, 1998.
- 2) Shimada Y.: Efficacy of Choto-san on vascular dementia. *J. Trad. Med.* 15:14-21, 1998.
- 3) Mitsuma T., Yokozawa T., Nonaka G., Itoh T., Shimada Y. and Terasawa K.: Differences in cathartic action among different types of the Oriental drug rhubarb. *J. Trad. Med.* 15:45-51, 1998.
- 4) Tahara E., Satoh T., Watanabe C., Nagai H., Shimada Y., Terasawa K. and Saiki I.: Effect of Kampo medicines on IgE-mediated biphasic cutaneous reaction in mice. *J. Trad. Med.* 15:100-108, 1998.
- 5) Takahashi K., Matsuda H., Shimada Y., Kita T., Itoh T. and Terasawa K.: Correlation between activity of rheumatoid arthritis and severity of "oketsu" syndrome. *J. Trad. Med.* 15:123-126, 1998.
- 6) Kikuchi K., Shibahara N., Shimada Y., Kita T., Ito T. and Terasawa K.: Correlation between "oketsu" syndrome and autonomic nervous activity. *J. Trad. Med.* 15:127-134, 1998.
- 7) Shimada Y., Goto H., Kogure T., Shibahara

- N., Kita T., Itoh T. and Terasawa K.: Extract prepared from the hooks and stems of *Uncaria sinensis* prevents glutamate-induced neuronal death in cultured cerebellar granule cells. *J. Trad. Med.* 15:141-146, 1998.
- 8) Itoh T., Tanaka N., Shibahara N., Kita T., Hashiba M., Shimada Y., Kobayashi Y. and Terasawa K.: Effect of Hachimi-jio-gan on adrenal corticosteroids. *J. Trad. Med.* 15:155-160, 1998.
 - 9) Kojima S., Hikiami H., Yang Q., Matsumi S., Umeda Y. and Terasawa K.: Effects of Shimotsu-to on the microcirculation of the bulbar conjunctiva and hemorheological parameters in normal subjects. *Phytomedicine* 5:19-24, 1998.
 - 10) Amagaya S., Ishige A., Takeda S., Shindo S., Maemura S., Kubo M., Komatsu Y., Okada M., Itoh T. and Terasawa K.: General pharmacological properties of TJ-9 extract. *Phytomedicine* 5:165-175, 1998.
 - 11) Shimada Y., Watanabe M., Shibahara N., Kita T., Itoh T. and Terasawa K.: Electrogastrographic power ratio in humans is not related to changes in antrum-skin distance but to antral motility. *J. Gastroenterol* 33: 310-317, 1998.
 - 12) Asano N., Nishida M., Kato A., Kizu H., Matsui K., Shimada Y., Itoh T., Baba M., A.A.Watson, R.J.Nash, P.M.Q.Lilley, D.J. Watkin, and G.W.J. Fleet: Homonojirimycin isomers and N-alkylated homonojirimycines: Structural and conformational basis of inhibition of glycosidases. *J. Medicinal Chemistry* 41:2565-2571, 1998.
 - 13) Amagaya S., Iizuka A., Komatsu Y., F. Cheng, T. Ruo, Itoh T. and Terasawa K.: General pharmacological properties of Gosha-jinki-gan (TJ-107) extracts. *Oyo Yakuri/Pharmacometrics* 56:23-32, 1998.
 - 14) 後藤博三，嶋田 豊，木村通郎，草野義弘，楊 喬，谷川聖明，寺澤捷年：芍薬含有タンニンの血管内皮におよぼす影響。和漢医薬学雑誌 14： 257-260，1997。（前回未掲載）
 - 15) 楊 喬，引網宏彰，嶋田 豊，喜多敏明，伊藤 隆，寺澤捷年：循環系および血液レオロジーに対する釣藤散の効果—釣藤散急性負荷試験による検

- 討一。和漢医薬学雑誌 14 : 302-303, 1997.
(前回未掲載)
- 16) 喜多敏明, 斉藤弘子, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 村井繁夫, 伊藤忠信, 寺澤捷年: マウス脳内モノアミン関連物質に及ぼす加味逍遙散の影響。和漢医薬学雑誌 14 : 304-305, 1997. (前回未掲載)
- 17) 長坂和彦, 土佐寛順, 巽 武司, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 漢方医学的舌候と生化学検査所見の関連性に関する検討。和漢医薬学雑誌 14 : 318-319, 1997. (前回未掲載)
- 18) 谷川聖明, 後藤博三, 田中宣充, 中村憲夫, 服部征雄, 寺澤捷年: 桂皮含有タンニンにおける内皮依存性血管弛緩作用。和漢医薬学雑誌 14 : 404-405, 1997. (前回未掲載)
- 19) 伊藤 隆, 田中宣充, 萬谷直樹, 喜多敏明, 橋場美香, 嶋田 豊, 寺澤捷年. 八味地黄丸のDH EASに対する影響。和漢医薬学雑誌 14 : 412-413, 1997. (前回未掲載)
- 20) 関矢信康, 引網宏彰, 田中宣充, 後藤博三, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 桂枝茯苓丸の動脈硬化抑制作用の検討。和漢医薬学雑誌 14 : 434-435, 1997. (前回未掲載)
- 21) 引網宏彰, 後藤博三, 楊 喬, 関矢信康, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 瘀血病態における血漿NO代謝産物とトロンボモジュリンの検討。和漢医薬学雑誌 14 : 444-445, 1997. (前回未掲載)
- 22) 嶋田 豊, 藤永 洋, 引網宏彰, 後藤博三, 伊藤 隆, 古田一史, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 高齢者の手足腰の痛み・脱力感・しびれ・冷えに対する八味地黄丸の効果。日本東洋医学雑誌 48 : 437-443, 1998.
- 23) 長坂和彦, 土佐寛順, 巽 武司, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 漢方医学的脈候, 舌候, 腹候の関連性に関する検討。日本東洋医学雑誌 49 : 35-50, 1998.
- 24) 喜多敏明, 伊藤 隆, 嶋田 豊, 柴原直利, 寺澤捷年: 不定愁訴患者の臨床像—柴胡加竜骨牡蛎湯有効例と加味逍遙散有効例との比較—。日本東洋医学雑誌 49 : 441-448, 1998.
- 25) 滝 昌則, 中島 薫, 佐々木博, 小松靖弘, 岡田 稔, 伊藤 隆, 長坂和彦, 喜多敏明, 柴原直利, 寺澤捷年: 烏頭配合漢方煎出液におけるアコニチン系アルカロイドの挙動に関する研究。Natural Medicines 52 : 434-439, 1998.
- 26) 奥田忠行, 林 朋博, 桜川信男, 梅野克身, 柴原直利, 伊藤 隆: 疲労が自律神経活動におよぼす影響—深夜勤務後の看護婦を対象として—。医学検査 47 : 1368-1372, 1998.
- ◆ 症例報告
- 1) Itoh T., Tatsumi T., Nagasaka K., Shimada Y., Taki M., Kubo M., Komatsu Y., Sasaki H. and Terasawa K.: A case of tuber poisoning following with change of Kampo formulae; determining the cause. J. Trad. Med. 15:176-180, 1998.
- 2) 田原英一, 伊藤 隆, 林 克美, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 大黃甘遂湯が奏効したバセドウ病を伴う変形性関節症の一例。日本東洋医学雑誌 48 : 459-466, 1998.
- 3) 塩谷雄二, 寺澤捷年, 伊藤隆, 嶋田豊, 喜多敏明: アトピー性皮膚炎の漢方治療に対する考察。日本東洋医学雑誌 48 : 615-623, 1998.
- 4) 長坂和彦, 土佐寛順, 巽 武司, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 茯苓四逆湯が奏効した交通事故後遺症(自律神経失調症, 精神障害)の四症例。日本東洋医学雑誌 48 : 625-632, 1998.
- 5) 長坂和彦, 土佐寛順, 巽 武司, 嶋田豊, 伊藤隆: 帰耆建中湯加附子による褥瘡の治療経験。日本東洋医学雑誌 49 : 273-280, 1998.
- 6) 巽 武司, 長坂和彦, 土佐寛順, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 再燃性前立腺癌に帰脾湯加カワラタケが有効であった一例。J. Trad. Med. 15 : 83-87, 1998.
- ◆ 総 説
- 1) 寺澤捷年: 脳血管障害と釣藤散。漢方と最新治療 6 : 311-315, 1997. (前回未掲載)
- 2) 嶋田豊: 漢方薬と脳微小循環動態。漢方と最新治療 6 : 339-343, 1997. (前回未掲載)
- 3) 寺澤捷年: 世界保健機関(WHO)からの提言 伝統医療の研究ならびに評価のための方法論—生薬治療と非薬物治療—。日本東洋医学雑誌 49 : 203-240, 1998.
- 4) 柴原直利, 寺澤捷年: 末梢循環障害—冷え症を中心に—。臨床医のための漢方治療 循環器疾患編 : 17-20, 1998.
- 5) 落合 宏, 酒井伸也: インフルエンザ・カゼウイルス感染時におけるサイトカイン応答。日本胸部臨床 56 : 21-27, 1997. (前回未掲載)
- 6) 寺澤捷年: 瘀血病態の科学的解明。日本東洋医学雑誌 48 : 409-436, 1998.
- 7) 寺澤捷年: アレルギーと漢方治療。アレルギー 47 : 1-5, 1998.
- 8) 喜多敏明, 寺澤捷年: 特集・長寿科学研究の将来展望 東洋医学と長寿科学。Geriat. Med. 36 :

44-48, 1998.

- 9) 喜多敏明, 寺澤捷年: 特集・最近の漢方治療と心身症 心身症と漢方治療. 心身医療 10: 17-22, 1998.
- 10) 喜多敏明, 寺澤捷年: いま処方を見直す 漢方処方では薬剤減量につながるか. JIM 8: 392-394, 1998.
- 11) 寺澤捷年: 漢方薬. 日本医師会雑誌特別号 119: 97-100, 1998.
- 12) 喜多敏明, 寺澤捷年: 中高年女性患者の治療 漢方療法の実践. Modern Physician 18: 1085-1087, 1998.
- 13) 寺澤捷年: 肝疾患に対する漢方療法 慢性疾患に対する和漢薬随証治療と臨床効果. 肝疾患の漢方治療 別冊・医学のあゆみ: 12, 1998.

◆ 学会報告

- 1) Terasawa K.: The quality and efficacy control in japan: Present and future. The Second International Symposium on Natural Medicine and Microflora, 1998, 10, Tokyo.
- 2) Itoh T.: Efficacy of Choto-san on vascular dementia and the protective effect of the hooks and stems of *Uncaria sinensis* on glutamate-induced neuronal death. The Third International NLS Workshop on Longevity Sciences, 1998, Nov 26, Obu-shi, Aichi, Japan
- 3) Goto H.: Studies on "Oketsu (瘀血)" Syndrome. The 2nd International Conference of Oriental Medicine, 1998, 10, Korea.
- 4) 後藤博三, 谷川聖明, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 桂枝茯苓丸構成生薬の内皮依存性血管弛緩作用. 第3回中西医結合動脈硬化症・血栓症・一次予防国際シンポジウム, 1998, 中国.
- 5) 喜多敏明: 現代社会と漢方 シンポジウム「現代社会のストレスと漢方の役割」. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 6) 関矢信康, 佐藤伸彦, 柴原直利, 笠原裕司, 金木英輔, 寺澤捷年: 桂枝去桂加茯苓白朮湯が奏効した頸肩腕症候群の3症例. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 7) 伊藤 隆, 佐藤伸彦, 小暮敏明, 関矢信康, 川俣博嗣, 寺澤捷年: 黄連解毒湯あるいは柴胡加竜骨牡蛎湯が奏効した味覚障害の三症例. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 8) 喜多敏明, 嶋田 豊, 藤永 洋, 関矢信康, 萬谷直樹, 寺澤捷年: 啓脾湯が有効であった過敏性腸症候群の二例. 第49回日本東洋医学会学術総会,

1998, 5, 熊本.

- 9) 後藤博三, 嶋田 豊, 藤永 洋, 萬谷直樹, 田原英一, 寺澤捷年: 苓桂朮甘湯が奏効した貧血を伴ったOvertraining syndromeの2症例. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 10) 田原英一, 川俣博嗣, 新沢 敦, 谷川聖明, 伊藤 隆, 寺澤捷年, 済木育夫: IgE依存性二相性皮膚反応に及ぼす漢方方剤の効果. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 11) 小暮敏明, 新沢 敦, 藤永 洋, 萬谷直樹, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 薏苡仁湯加味が奏効した慢性関節リウマチ患者に関する一考察. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 12) 嶋田 豊, 小暮敏明, 後藤博三, 柴原直利, 喜多敏明, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 和漢診療学的所見の年代別検討. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 13) 久永明人, 谷野亮爾, 伊藤 隆: 向精神薬による麻痺性イレウス・常習性便秘に対する大承気湯の使用経験. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 14) 柴原直利, 谷川聖明, 関矢信康, 笠原裕司, 佐藤伸彦, 寺澤捷年: ネフローゼ症候群における分消湯証の検討. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 15) 谷川聖明, 引網宏彰, 後藤博三, 小暮敏明, 喜多敏明, 寺澤捷年: 糖尿病コントロールと気血水スコアの検討. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 16) 古田一史, 三瀧忠道, 伊藤 隆, 佐藤 弘, 下手公一, 小林 豊, 二宮裕幸: 腎虚とAdvanced glycation end-productの関連について. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 17) 木村通郎, 後藤博三, 寺澤捷年: 脳卒中易発症 高血圧自然発症ラット脳血管早期病変にみる芍薬エキス・桂枝茯苓丸投与の影響—免疫組織化学的検索—. 第49回日本東洋医学会学術総会, 1998, 5, 熊本.
- 18) 伊藤 隆: 慢性肝炎に対する和漢薬随証治療の効果. 第15回和漢医薬学会大会(学会奨励賞受賞講演), 1998, 8, 富山.
- 19) 鳥居塚和生, 渡邊裕司, 佐竹元吉, 丸山悠司, 嶋田 豊, 木村通郎, 石毛 敦: シンポジウム「老化と和漢薬」老化に伴う高次中枢機能の低下に対する漢方薬の効果に関する基礎的研究. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 20) 嶋田 豊, 橋場美香, 後藤博三, 小暮敏明, 柴

- 原直利, 喜多敏明, 伊藤 隆, 寺澤捷年: シンポジウム「老化と和漢薬」ラット培養小脳顆粒細胞におけるグルタミン酸誘導急性神経細胞死に対する釣藤散の保護作用. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 21) 田原英一, 佐藤卓, 鳥居塚和生, 永井博式, 濟木育夫, 寺澤捷年: IgE依存性二相性皮膚反応の及ぼす川芎の抑制効果. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 22) 新谷卓弘, 草野義弘, 伊藤 隆, 嶋田 豊, 喜多敏明, 柴原直利, 寺澤捷年: 筍による炎症反応の増悪についての検討. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 23) 後藤博三, 谷川聖明, 関矢信康, 草野義弘, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 自然発症高血圧ラットにおける釣藤散の血管内皮機能に及ぼす影響. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 24) 楊 喬, 喜多敏明, 引網宏彰, 嶋田 豊, 伊藤隆, 寺澤捷年: 微小循環および血液レオロジーに対する釣藤散の効果—釣藤散長期投与による検討—. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 25) 許 鳳浩, 上馬場和夫, 寺澤捷年, 丁 宗鐵: 麻黄湯のヒト脳高次機能と循環器系への作用(第2報). 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 26) 柴原直利, 菊地一夫, 喜多敏明, 嶋田 豊, 伊藤隆, 寺澤捷年: 瘀血病態と自律神経機能との関連性について(第2報). 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 27) 喜多敏明, 柴原直利, 嶋田 豊, 伊藤隆, 寺澤捷年: 気血水の病態と血中カルニチンとの関係. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 28) 小暮敏明, 藤永 洋, 新沢 敦, 嶋田 豊, 伊藤隆, 寺澤捷年: 漢方薬方剤で血清中可溶性CD23の低下が観察された慢性関節リウマチの一例. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
- 29) 寺澤捷年: これからの社会における医学教育体制の拡充と整備—漢方の教育研究体制の現状と将来—. 日本東洋医学会北陸支部第5回夏季講演会, 教育講演, 1998, 7, 福井.
- 30) 喜多敏明: 心理的側面からみた証の判別. 日本東洋医学会北陸支部第5回夏季講演会, 教育講演, 1998, 7, 福井.
- 31) 川俣博嗣, 萬谷直樹, 寺澤捷年, 馬竹美穂, 今西信子, 三善郁代, 高松奈美, 落合 宏: マウスインフルエンザウイルス肺炎に対する抗MIP-2抗体投与の影響. 第4回バイオセラピー研究会, 1998, 7, 富山.
- 32) 藤永 洋, 竹内 健, 安藤聡一郎, 金田和彦, 高崎芳成, 橋本博史: RA患者血清で認めた細胞周期関連抗原に対する自己抗体. 第42回日本リウマチ学会総会, 1998, 5, 東京.
- 33) 藤永 洋, 森 昭憲, 笠原裕司, 嶋田 豊, 伊藤隆, 清水正司, 大森義明, 田中三千雄, 寺澤捷年: 胃にガリウムの集積を認めたサイトメガロウイルス感染症の1例. 日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1998, 6, 福井.
- 34) 笠原裕司, 藤永 洋, 森 昭憲, 谷川聖明, 新沢 敦, 嶋田 豊, 伊藤隆, 寺澤捷年: 重症筋無力症患者に発症したサイトメガロウイルス感染症の1例. 日本内科学会北陸地方会, 1998, 6, 金沢.
- 35) 喜多敏明: 精神科領域の漢方治療—ストレス性疾患・脳血管障害等—. 第66回福井県神経科精神科医会, 1998, 9, 福井.
- 36) 小暮敏明, 藤永 洋, 新沢 敦, 嶋田 豊, 伊藤隆, 寺澤捷年: 慢性関節リウマチ患者における血清DHEAS濃度の臨床的意義. 第10回リウマチ学会総会(日本リウマチ学会中部支部学術集会), 1998, 9, 金沢.
- 37) 藤永 洋, 小暮敏明, 新沢 敦, 佐藤伸彦, 森崎龍郎, 嶋田 豊, 伊藤隆, 寺澤捷年: 三叉神経障害を呈した原発性シェーグレン症候群の1例. 第10回リウマチ学会総会(日本リウマチ学会中部支部学術集会), 1998, 9, 金沢.
- 38) 高橋宏三, 松田治己, 泉 三郎, 伊藤隆, 寺澤捷年: 肺クリプトコッカス症を併発した悪性関節リウマチの1例. 第10回リウマチ学会総会(日本リウマチ学会中部支部学術集会), 1998, 9, 金沢.
- 39) 伊藤隆, 寺澤捷年: 桃核承気湯が奏効した幼児アトピー性皮膚炎の一例. 第8回漢方治療研究会, 1998, 9, 東京.
- 40) 後藤博三, 田中宣充, 寺澤捷年: 良姜の内皮依存性血管弛緩作用. 日本生薬学会第45回年会, 1998, 9, 仙台.
- 41) 萬谷直樹, 川俣博嗣, 馬竹美穂, 今西信子, 三善郁代, 高松奈美, 落合 宏: 和漢薬による液胞の酸性化阻害作用とインフルエンザウイルス増殖に及ぼす影響. 第35回日本細菌学会中部支部総会, 1998, 10, 名古屋.
- 42) 平崎能郎, 巽 武司, 佐藤伸彦, 柴原直利, 寺澤捷年: 厚朴七物湯合半夏厚朴湯が有効であった吃逆の一例. 第24回日本東洋医学会北陸支部例会,

- 1998, 10, 富山.
- 43) 加藤伸太郎, 南澤 潔, 新沢 敦, 喜多敏明, 伊藤 隆: 猪苓湯が有効であった水様性下痢の一例. 第24回日本東洋医学会北陸支部例会, 1998, 10, 富山.
 - 44) 中田真司, 巽 武司, 川俣博嗣, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 桂枝二越婢一湯加朮附粉防己黄耆と温経湯エキスの併用が有効であった慢性関節リウマチの一例. 第24回日本東洋医学会北陸支部例会, 1998, 10, 富山.
 - 45) 野上達也, 南澤 潔, 藤永 洋, 後藤博三, 小暮敏明: 湯液治療, 特に桂枝加葛根湯が有効であった慢性関節リウマチの一例. 第24回日本東洋医学会北陸支部例会, 1998, 10, 富山.
 - 46) 嶋田 豊: 特別講演 老年期痴呆と漢方. 日本東洋医学会北陸支部春季講演会, 1998, 3, 金沢.
 - 47) 石塚盈代, 喜多敏明, 津田昌樹: 「証」による疲労感へのアプローチ. 第41回日本産業衛生学会北陸甲信越地方回総会, 1998, 10, 福井.
 - 48) 寺澤捷年: 漢方医学—新たな医療システム構築をめざして—. 第27回日本東洋医学会中四国支部総会, 1998, 11, 岡山.
 - 49) 藤永 洋, 竹内 健, 金田和彦, 縄田益之, 松下雅和, 高崎芳成, 橋本博史: RA患者血清で認めた細胞周期関連抗原に対する自己抗体. 第28回日本免疫学会総会・学術集会, 1998, 12, 神戸.
 - 50) 田原英一, 佐藤 卓, 山田智裕, 黒崎いずみ, 伊藤 隆, 寺澤捷年, 永井博式, 済木育夫: マウスにおける3相性皮膚反応の解析. 第48回日本アレルギー学会総会, 1998, 12, 神戸.
 - 51) 山田智裕, 佐藤 卓, 田原英一, 黒崎いずみ, 寺澤捷年, 永井博式, 済木育夫: マウスにおける3相性皮膚反応の解析. 第48回日本アレルギー学会総会, 1998, 12, 神戸.
 - 52) 佐藤 卓, 田原英一, 黒崎いずみ, 山田智裕, 永井博式, 済木育夫: マウスにおける3相性皮膚反応の解析. 第48回日本アレルギー学会総会, 1998, 12, 神戸.
- ◆ その他
- 1) Terasawa K.: Choto-san, a Kampomedicine, in the treatment of vascular dementia: A double-blind, placebo-controlled study. JSPS-KOSEF Joint Seminar, 1998, 7, Toyama.
 - 2) Itoh T.: Study on Oketsu syndrome, the 10th anniversary of the opening of Sanji oriental medical college. Internatinal conference on the oriental medicine of 21th century, 1998, Oct , 22, Wonju-city, Korea.
 - 3) 寺澤捷年: 高齢者の中樞神経疾患・動脈硬化性疾患に対する漢方薬の効果に関する研究. 長寿科学総合研究 平成8年度研究報告 9: 48-50, 1997. (前回未掲載)
 - 4) 寺澤捷年: 有症候性脳梗塞患者のラクナー梗塞再発に関する桂枝茯苓丸の効果. 長寿科学総合研究 平成8年度研究報告 9: 51-54, 1997. (前回未掲載)
 - 5) 嶋田 豊: 高コレステロール血症ラットの脳血管及び脳実質障害に対する和漢薬の効果に関する研究. 長寿科学総合研究 平成8年度研究報告 9: 92-95, 1997. (前回未掲載)
 - 6) 伊藤 隆: 血中DHEASによる東洋医学的病態スコアの検討. 長寿科学総合研究 平成8年度研究報告 9: 123-126, 1997. (前回未掲載)
 - 7) 柴原直利: 補中益気湯が奏効したB型慢性肝炎の1例. 肝疾患の漢方治療 別冊・医学のあゆみ: 60-62, 1998.
 - 8) 伊藤 隆: 黄連解毒湯(万病回春)により長期肝機能の安定を得た慢性C型肝炎の1症例. 肝疾患の漢方治療 別冊・医学のあゆみ: 96-97, 1998.
 - 9) 寺澤捷年: 梔子柏皮湯が奏効したと考えられる原発性胆汁肝硬変症の1例. 肝疾患の漢方治療 別冊・医学のあゆみ: 177-179, 1998.
 - 10) 萬谷直樹, 寺澤捷年: 加味逍遙散が有効であった慢性便秘の一例. カレントセラピー 16: 177-199, 1998.
 - 11) 柴原直利: 漢方治療と食生活. 平成9年度生涯教育研修会, 1998, 1, 福井.
 - 12) 小暮敏明: 感冒・インフルエンザにおける漢方薬の使い方—特に患者の証の捉え方について—. 綴喜・相楽郡医師会学術講演会, 1998, 3, 京都.
 - 13) 嶋田 豊, 寺澤捷年: 脳血管性痴呆に対する釣藤散の臨床効果—プラセボを対照とした二重盲試験—. 北陸地区神経科・精神科漢方研究会, 1998, 4, 金沢.
 - 14) 寺澤捷年: これからの社会における医学教育態制の拡充と整備—漢方の教育研究体制の現状と将来—. Prog. Med. 18: 651-655, 1998.
 - 15) 寺澤捷年: 医学教育への東洋医学の参入について—全ての医育機関に東洋医学の講座の設置を—. 東洋医学 5: 12-13, 1998.
 - 16) 藤永 洋: 細胞周期関連抗原に対する自己抗体. 第22回富山リウマチと免疫研究会, 1998, 5, 富山.
 - 17) 寺澤捷年: こんな時には漢方を シンポジウム

コーディネーター。第49回日本東洋医学会学術総会サテライトシンポジウム，第5回東洋医学シンポジウム，1998，5，熊本。

- 18) 嶋田 豊：脳血管性痴呆と釣藤散。漢方医学 22：148-150，1998。
- 19) 喜多敏明：シンポジウム「現代社会のストレスと漢方の役割」から 現代社会と漢方。薬局新聞，1998，6，10。
- 20) 喜多敏明：桂枝剤・麻黄剤。上越地区漢方セミナー，1998，6，上越。
- 21) 喜多敏明：柴胡剤。上越地区漢方セミナー，1998，7，上越。
- 22) 喜多敏明：参耆剤。上越地区漢方セミナー，1998，9，上越。
- 23) 喜多敏明：附子剤・大黄剤。上越地区漢方セミナー，1998，10，上越。
- 24) 後藤博三：大黄剤について。続・実践漢方診療講座，1998，7，15，富山。
- 25) 後藤博三：大黄剤について。新・和漢診療学講座呉西地区漢方懇話会，1998，8，18，高岡市。
- 26) 伊藤隆：講義・わかり易い傷寒論。和漢薬研究所夏期セミナー，1998，8，富山。
- 27) 寺澤捷年：東西医学融合の試み。和漢薬研究所夏期セミナー，1998，8，富山。
- 28) 寺澤捷年：漢方一命の輝きを求めてー。諏訪中央病院改築記念講演，1998，8，諏訪。
- 29) 寺澤捷年：座談会 メンタルヘルスにおける漢方治療の意義と展望。JAMA 9：4-11，1998。
- 30) 嶋田 豊：座談会 脳血管性痴呆と釣藤散。Nikkei Medical 10 別冊：16-23，1998。
- 31) 寺澤捷年：脳血管性痴呆に対する釣藤散の効果。平成10年度国際学術交流 中国交流協定機関若手研究者シンポジウム，基調講演，1998，10，富山。
- 32) 寺澤捷年：漢方薬研究の最近の話題。厚生 11：16-17，1998。
- 33) 寺澤捷年：第三の医学・医療。毎日ライフ 12：3，1998。
- 34) 柴原直利：アトピー性皮膚炎の治療について。中部保健所研修会，1998，12，上市町。
- 35) 喜多敏明：やさしい漢方理論①気血水理論，瘀血の病態。The Kampo 創刊号：16-19，1998。

人間科学・基礎看護学

基礎看護学研究室

教	授	高	間	静	子
講	師	塚	原	節	子
助	手	上	野	栄	一
助	手	高	島	佐	知子

◆ 原 著

- 1) 高間静子，塚原節子，上野栄一：看護婦の社会的スキルのリーダーシップ行動への影響，富山医科薬科大学看護学科誌1(1)，29-33，1998。
- 2) 塚原節子，上野栄一，高島佐知子，高間静子：看護婦の専門的自律度のリーダーシップへの影響，富山医科薬科大学看護学会誌1(1)，23-27，1998。
- 3) 上野栄一，高間静子：病室環境におけるディストレス度測定尺度作成の開発，富山医科薬科大学医学会誌11(1)，65-68，1998。
- 4) Imamura T., Haruta T., Takata Y., Usui I., Iwata M., Ishihara H., Ishiki M., Ueno E., Sasaoka T., and Kobayashi M.: Involvement of Heat Shock Protein 90 in the Degradation of Mutant Insulin Receptors by the Proteasome, The Journal of Biological Chemistry, 273 (18), 11183-11198, 1998.
- 5) Ishihara H., Sasaoka T., Wada T., Ishiki M., Haruta T., Usui I., Iwata M., Takano A., Uno T., Ueno E., and Kobayashi M.: Relative involvement of Shc tyrosine 239/240 and tyrosine 317 on insulin induced mitogenic signaling in rat 1 fibroblasts expressing insulin receptors, Biochemical and Biological Research Communications 252, 139-144, 1998.

◆ 学会報告

- 1) 花岡由紀，谷 優子，塚原節子，高間静子：病室環境における入院患者のディストレスと快眠度との関係，第24回日本看護研究学会，1998，7，弘前。
- 2) 上野栄一，高島佐知子，小川幸恵，高間静子：病室環境における入院患者のディストレス度測定尺度作成の試み，第24回日本看護研究学会，1998，7，弘前。
- 3) 横田恵子，大江美由紀，谷優美子，上野栄一，高間静子：病室環境における入院患者のディストレスと不安との関係，第24回日本看護研究学会，1998，7，弘前。
- 4) 堂下芳美，八田朱美，江守外志子，上野栄一，